

第1学年 生活科学習指導案

指導者：教諭 新 田 萌
場 所：1 年 3 組 教 室

1 単元名 たのしいあき いっぱい

2 目標

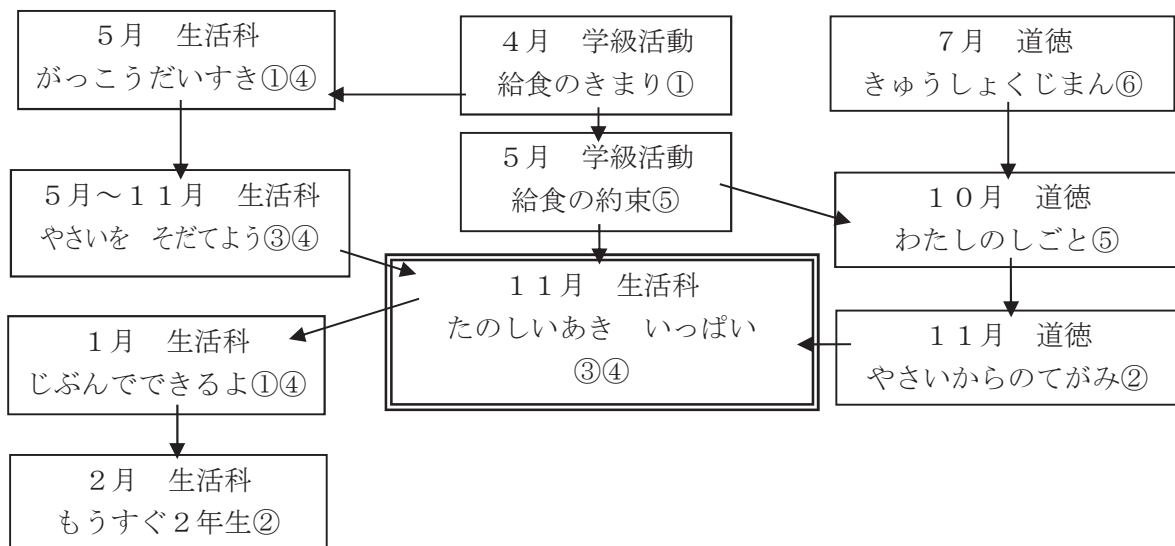
- ・秋の自然や季節の変化に関心をもち、秋の自然の様子、遊びや生活、食べものに興味をもち、楽しく生活しようとする。
(生活への関心・意欲・態度)
- ・四季の変化や、季節による生活の変化について自分なりに考えたり、身近な秋の自然を生かした遊びや食べものの食べ方を工夫したりする。
(活動や体験についての思考・表現)
- ・季節が変わると自然の様子が変わり、遊びや生活、食べものが変わること気付くとともに、身近な自然を利用した遊びの楽しさや食べ物の美味しさに気付く。
(身近な環境や自分についての気付き)

<食育の観点>

- ・日常食べている食品や料理の名前や形を知ること。
(食品を選択する能力)
- ・感謝の気持ちの表れとして、残さず食べたり、無駄なく調理したりすること。
(感謝の心)

3 教科等との食育関連構造図

<学年テーマ 身近な食べ物となかよし>



※ 食育の観点 ①食事の重要性②心身の健康③食品を選択する能力④感謝の心⑤社会性⑥食文化

4 指導にあたって

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領の内容(5)「季節の変化と生活」、(6)「自然や物を使った遊び」、(9)「自分の成長」を扱った学習である。

これまで「がっこう だいすき」や「なつだ あそぼう」の学習で、春や夏の身近な自然とかかわり、観察したり遊びに使ったりして、自然の不思議さや遊びを作り出す面白さにふれてきた。

「きれいに さいてね」の単位ではあさがおを一人一鉢育て、さらに花の違いに気付くためにピーマンやナスの栽培体験を行ってきた。発展として自分たちで育てた野菜を食べることで、食事の大切さや有難さを感じることもできた。

これらの経験をもとに、本単元「たのしいあき いっぱい」の学習を行う。自然が色鮮やかに変化する秋は、四季の中でも変化に富み、遊ぶには大変良い季節である。これまでの学習と同様に、学校のまわりを探検したり、秋の自然を生かした飾りやおもちゃを工夫して作ったりすることで、季節の変化や、秋特有の自然のよさに関心が高まるであろう。また、なしやさつまいもなど地域の旬の食べものを食べることで、自然の豊かさと地域のよさを感じられるだろう。遊び、食など多様な観点からたくさんの秋のよさに気付かせることができると考える。

さらに、これまでの学習を振り返らせることにより、自分自身の成長に気づき、自分のよさを知り、自信を持たせるにはよい教材である。

食に関する指導においても、六年生とともに植えたさつまいもを育て、食べる活動などを通して、食への感謝や命の大切さについて気付くなど、生活科の学習は、食に関する理解を、より身近に実感をもって深めることにつながると考える。

(2) 児童観

本学級の児童は、身近なことに関心を持ち、気付いたことをよく話してくれる。そのため、春、夏と様々な自然とかかわり、四季の移り変わりを感じたり、春と夏の変化を発見したりして、活発に交流することができた。それぞれの季節の植物や生き物と触れ合う中で、その季節にしかない自然を見つけることもできた。

「きれいにさいてね」では、アサガオやヒマワリなどの植物のほかに、ナス、ピーマンの野菜も育てた。植える前の種や苗の観察では、触ったり、においをかいだりして、五感をフル活用し、各々の感じたことを詳しくたくさんメモすることができた。また、植物の小さな成長にもよく気が付き、報告してくれる子もたくさんいた。自分たちが育てたナスやピーマンを調理して食べることで、初めてその美味しさに気づき、苦手なものも食べられるようになる姿も見られた。

このように、季節の移り変わりに敏感に反応し、植物に愛情をもって接することのできる児童である。本単元では、秋の自然に触れるとともに、秋の物を使った遊びを考える。秋の自然への関心が高まり、様々なアイディアで遊びを工夫することができるのではないかと期待する。また、春に6年生と植えたさつまいもを利用した学習では、植えてから水やりや草むしりなどを行い、一生懸命育てたさつまいもだからこそ、「おいしい」と言って食べてくれるだろう。その中で、さつまいもにはたくさんの栄養があることを知り、残さず大切に食べたいという気持ちを持つとともに、無駄なく食べられることのよさについても考え、これからの生活に生かしていってほしいと考える。

(3) 指導観

本単元では、秋の身近な自然が対象である。そのため、児童はいつでも見る、調べる、探す、作る、遊ぶなどの活動を主体的に行うことができる。そこで、一次、二次では、秋の自然を見付け、見付けたもので遊ぶ活動を取り入れることで、「〇〇さんが見付けた葉っぱを、私も見付けたいな。」「〇〇さんの遊び方、楽しそうだな。やってみたいな。」という願いをもち、主体的に秋と関わり、秋を楽しめる学習を工夫したい。

また、三次では、秋の食べ物に目を向ける。本単元では栄養教諭と連携することによって、「食べておいしい」だけでなく、その食べ物の栄養や体への良い効果にも触れる。その際、「食べ物ってすごい」、「パワーをもらうために、残さず食べよう」という思いを持ってほしい。さつまいもを題材とした学習では、普段食している実だけでなく、皮やつる、葉も食べられるという話を聞き、実際に食べることで、その「すごさ」に気づくだろう。これらを通して、さつまいもの栄養や無駄なく食べられることを知るとともに、食べ物を残さず食べようとする児童を育てたい。

四次では、これらの活動を通して、自分のお気に入りの秋をカルタの絵札にして表す。活動を振り返る中で、秋のよさを見つけるとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする態度を育てたい。

5 単元計画（総時数 10 時間）

次 (時) 学習 過程 (月)	小単元名 ねらい	学習活動	評価基準（評価方法）		
			関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
一次 (1) つかむ (9月)	季節を感じよう ・諸感覚を使って、秋の自然や食べ物などに関心をもって秋と関わる中で、夏の頃と様子が変わっていることに気付くことができる。	くなつとかわったところは どこかな> ・夏との変化について気付いたことを発表し合う。 ・学校のまわりなどの、今の様子を見に行く計画をたてる。 夏と比べて、すずしくなったよ。 草や虫も、変わってきたよ。 秋になったのだね。秋にはどんなものがあるのだろう。	・秋の草花や樹木、虫などに関心を持ち、それらを観察している。 (行動観察、発言)		・秋の草花や樹木、虫などの様子が、夏から秋へ移り変わってきていることに気付いている。 (行動観察、発言)
二次 (4) さぐる (9～10月)	あきのしぜんであそぼう ・秋の動植物を観察したり、自然を利用して遊んだり、身近な秋の食べ物を見つたり、地域の人々と関わったりする中で、夏の頃と自然や人々の生活の様子が変わっていることや秋の自然を利用した遊びの楽しさに気付くことができる。	くどんなあきのしぜんがみつかるかな> ・学校のまわりなどの、秋の動植物の様子を観察する。 ・夏の頃の様子と比べて、変わっているところを記録する。 夏にはなかった、いろんな落ち葉があったよ。どんぐりやまつぼっくりも見つけたよ。育てていた花たちも種になっていたよ。 虫も、夏の頃と変わっていたよ。 くあきのしぜんであそびができるかな> ・秋の自然を使った遊びを考えたり、おもちゃを作ったりして、友達と遊ぶ。 ・活動を振り返り、気付いたことなどを記録する。 落ち葉や木の実を使って、どんぐりごまや葉っぱのお面をつくったよ。 さつまいもを使って、いちはんこやつるとびもしたよ。 夏とは違った遊びができたよ。 みんなで遊べて楽しかったよ。		・諸感覚を使って秋の動植物を観察している。 (行動観察)	・夏から秋になり、動植物の様子が変わっていることや、季節の変化とともに、人々の生活の様子が変わっていることに気付いている。 (行動観察、ワークシート)
				・秋の自然の特徴を利用して、遊びを工夫したり、ルールを考えたりして、みんなで楽しく遊んでいる。 (行動観察、ワークシート)	・秋の自然の特徴や、自然を使って遊びをつくり出す面白さに気付いている。 (行動観察、ワークシート)

<p>三次 (3)</p> <p>深める</p> <p>(10～11月)</p>	<p>あきをたべよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の食べ物のことを知り、秋(旬)の食べ物のよさに気付くことができる。 	<p>＜どんなあきのたべものがみつかるかな＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な秋の食べ物を探す。 ・見つけた秋の食べ物を発表する <p>夏には、なすやピーマンを育てて食べたけど、秋には、さつまいもが大きくなって食べられるね。 栗・柿・梨の実もなったよ。 野菜も夏と秋でちがうのだね。</p> <p>＜なしの ひみつをしよう＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なしを観察し、味や食感などを感じる。 ・なしの話を栄養教諭から聞き、なしの栄養などに気付く。 <p>なしは、すごいたべものだよ。 ・おいしい ・「ひえひえパワー」、「げんきかいふくパワー」、「おなかピカピカパワー」など、たくさんパワーがある。</p> <p>本時</p> <p>＜あきのごちそう さつまいものひみつを もっとしよう＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さつまいもを観察し、味や食感などを感じる。 ・さつまいもの話をG.T(野菜を育てている北崎さん)から聞き、さつまいもの栄養などに気付く。 <p>あきのごちそう さつまいもって…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまくておいしい ・「パワー」がたくさんある ・かわやつるまで食べられる <p>というひみつがある すごいたべものだったよ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の食べ物に開心をもち、それらに親しんでいる。(行動観察、発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏から秋になり、採れる食べ物について比較して考えている。(行動観察、発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・なしは秋の食べ物で体によい栄養を多く含む食材だということに気付いている。(発言、ワークシート)
<p>四次 (2)</p> <p>生かす</p> <p>(11月)</p>	<p>みつけたあきを紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋と自分たちの生活との関わりを振り返り、それらを表現し、友だちと紹介し合うことを通して、秋のよさや、四季の移り変わりなどに気付くことができる。 	<p>＜みつけたあき はっぴょうかい＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、自分の生活に取り入れたいことをカルタの絵札に表す。 ・絵札を用いて、それぞれのお気に入りの秋を紹介し合う。 <p>たくさんのお気に入りのお気に入りのお気に入りのお気に入りを知ることができたよ。 みんなでお気に入りを知ることができたよ。 秋もとっても楽しかったな。 来年もたくさん秋を楽しみたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習の中で、見つけたものや楽しかったことを振り返って秋のよさを自らの生活に取り入れようとしている。(発言、ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、伝えたいことを選び、言葉や絵で表している。(ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことが相手に伝わる楽しさに気付いている。(発言、ワークシート)

6 本時の活動（第三次 第3時）

（1）小単元名 あきを たべよう


（2）本時のねらい さつまいもはつるも実も食べられることに驚き、体によい甘くておいしい秋の食べ物だということに気付く。

（3）本時の展開

学習活動 主な発問（○） 予想される児童の思考（・）	時	指導（・）と 評価（●） 評価規準（C→B）への手立て※
1 さつまいもを味わい 感想を話し合う中で 本時の課題をつかむ ○みんなはこれまでに どんな秋の食べものを見つけたのだったかな ・さつまいも ・なし ・くり ・かき ○秋の食べものをもってきました なんでしょう ・ぼくたちがつくったさつまいもだ！ ○さつまいもについて 今知っていることはなんですか ・たくさん食べると おならが出ます ・スイートポテトを食べたことがあります ・焼き芋もおいしいです ・いもハンコをつくって遊びました ・6年生と植えて いもほりもしたよ ○実際に 食べてみよう ・おいしい！ ・ほくほくしている ・あまい ○さつまいもには こんなにも料理のしかたがあります どうしてこんなに 秋のごちそうがいっぱいなのでしょう ・なにかひみつがあるのかも… <秋のごちそう さつまいもの ひみつを もっと知ろう>	10	・前時に見つけた食べ物を提示し 既習を振り返る ・春・夏には葉だけであったが、秋には実がなっていることに気付かせる ・イメージマップを用いて グループで多様な考えを持たせる ・写真を提示し 活動を想起させる ・ふかしいもを食べさせる ・これまでの経験を発表させ それ以外の多様な料理法をタブレットからデジタルテレビに提示する
2 さつまいもについて 考えを深める ○みんな たくさんのことを知っていましたね この中からパワーを見つけれそうかな ・おならは 「おなかピカピカパワー」があるのかも ・なしでも あったからね ・ひえひえパワーやげんきかいふくパワーはあるのかな ○なしと同じように パワーを見つけることができました	10	・既習を活かせるように 掲示物をもとにパワーを考えさせる ・本時の学びを視覚的にわかりやすくするために 児童の初めの考えと深める場での意見を色分けして板書する
3 さつまいもの新たなひみつを GTの話から深める ○ところで これはなんでしょう 食べてみてください ・おいしい これはなんだろう ○これを持ってきてくれた人に 聞いてみましょう 「さつまいも博士」です ○(GT)これは さつまいものつるです ・ええ！つるって食べられるの！ ・知らなかった！遊ぶだけだと思っていた！ ・捨てると思っていたところも食べられるのだね	10	・調理したつるを食べさせる ・GT（野菜を育てている北崎さん）の話を聞かせる
4 本時の学習を振り返りまとめる ○さつまいもは どんな食べ物でしたか ・すごい食べ物だったよ ・「おなかピカピカパワー」があったよ ・「げんき 100 ばいパワー」があったよ ・つるまで食べられたよ ・捨てるところのないたべものだったよ ・おいしかったよ あきのごちそう さつまいもって… ・あまくておいしい ・「パワー」がたくさんある ・かわやつるまで食べられる むだがない というひみつがある すごいたべものだったよ ○さつまいもの「すごい！」と思ったことを お家の人に教えよう ・「おなかピカピカパワー」があるんだよ ・「おはだツルツルパワー」があるんだよ ・つるまで食べられるんだよ ・とってもおいしいよ	10	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> GTのお話 ・さつまいものパワーについて ・つるのパワーについて ・つるや皮、葉も食べられることについて </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ●さつまいもはつるも実も食べられることに驚き、体によい甘くておいしい秋の食べ物だということに気付いている 【身近な環境や自分についての気付き】 （発言、ワークシート） </div>
	5	※どの子も振り返りが書けるようにするために 机間巡視をして本時の活動を振り返らせる ・相手意識をもって書かせるために 振り返りをお家の人に教えるカードに書かせる

7 ワークシート

＜あきのごちそう さつまいもの ひみつを もっとしよう！＞





さつまいも

なまえ ()

あきのごちそう
さつまいもって…

きょうの がくしゅうの
ふりかえり


 ばっちり！


 もうずこし…

白山会場

8 板書計画

11/16 かだい ＜あきのごちそう さつまいものひみつを もっとしよう！＞

みとおし

- ・おなら
- ・スイートポテト
- ・やきいも
- ・いもハンコ
- ・6ねんせいと

かんがえ ふかめる

おなら

おなかピカピカパワー

あまい

げんき 100 ばいパワー

かわ つる は

たべられる！

おなかピカピカパワー

スイートポテト
やきいも

いもはんこ
つるとび

あそびでも○

たべてみたら…

おいしい

ほくほく

あまい

あきのごちそう
さつまいもって…

すごい！

おなかピカピカパワー！
げんき 100 ばいパワー！
かわもつるもはも
ぜんぶたべられる！
あまくてとってもおいしい！！

— 41 —